



ふれあいの丘 天文館だより



★今月の天文情報

●7月7日は新暦の七夕(たなばた)

七夕は年に一度、天の川の両岸に引き離されていた「おり姫星」と「ひこ星」が天の川を渡って会うことを許された特別な日とされています。七夕かざりのささ竹に願い事を書いた短冊(たんざく)をつるし、空を見上げてみませんか。七夕は幼い子どもが初めて星空を体験するよい機会です。

●おり姫星、ひこ星の見つけ方

7月7日前後の午後9時過ぎの東の空に、明るく輝く3つの星を見つけることができます。もっとも明るいのが「おり姫星」、2番目に明るいのが「ひこ星」です。



夜空の暗い場所では2つの星の間に天の川が流れている様子を観察することができます。ちなみに、おり姫星はこと座の「ベガ」、ひこ星はわし座

の「アルタイル」です。(中国の呼び名では、おり姫星を「織女星(しよくじよせい)」、ひこ星を「牽牛星(けんぎゅうせい)」といいます)もう1つの明るい星は、ちょうど天の川の上を翼で橋渡するような位置にあるはくちょう座の「デネブ」です。この3つの星をつないでできる大きな三角形を「夏の大三角」といい、夏の星座を見つけるよい目印となります。

●伝統的七夕

もともと七夕の行事は、現在の暦ではなく旧暦など太陰太陽暦の7月7日でした。この日は半月状の月がでて、「おり姫星」や「ひこ星」も空高くにあり、あたかも「おり姫星」が月の舟に乗り、「ひこ星」に逢いにいく情景が想い浮かばれます。しかし、現在の暦の7月7日は梅雨のまっさかりで、星もなかなか見られず、月の形も毎年違ってきます。

そこで、国立天文台では「伝統的七夕」の日を、以前使われていた暦をもとに定義し、星空を楽しむことを呼びかけています。今年の「伝統的七夕」は8月24日(金)になります。ぜひ、灯りを消して夏の夜に「おり姫星」と「ひこ星」の姿を探してみてください!

伝統的七夕ライトダウンキャンペーン 「つながろう七夕、よみがえれ天の川」

■問い合わせ

ふれあいの丘天文館 ☎(28)3254
🌐 <http://www.fureai-tenmonkan.jp/>

ふれあいの丘 自然観察館だより

もうすぐ楽しい夏休み!夏と言えば昆虫の季節です。この夏も開催する企画展「世界のカブト・クワガタ展」(6月30日~10月14日)

●世界の珍しいカブト・クワガタが集合

ヘラクレスオオカブト・コーカサスオオカブト・ニジイロクワガタなどの生体展示のほか、世界や日本のカブト・クワガタの標本も多数展示します。



昨年のチラシ

また7月21日~8月31日までは特別企画として、「ふれあいコーナー」を開設します。多数のカブトムシ・ノコギリクワガタとテントの中で遊ぶことができます。子どもたちにとって楽しい夏休みの思い出になることでしょう。

●世界最大級のヘラクレスオオカブト

もっとも大きいものは18cmにも達するといわれています。メスは日本のカブトと同じように角はありません。中央アメリカから南アメリカの広大な地域に生息しています。地域によって角の形や前ばねの

色や模様の特徴があります。

特に中米ドミニカ国のヘラクレス・ヘラクレスやコロンビアなどに生息するヘラクレス・リッキーは角が太く、大きいので人気があるようです。日本のカブトムシの成虫の寿命は約1~2カ月間ですが、ヘラクレスは約1年と長寿で子どもたちを楽しませてくれています。



●「クワガタ教室」開催のお知らせ

- ・日 時 7月21日(土)・28日(土)の2回
午前10時~11時30分
- ・場 所 自然観察館研修室
- ・内 容 クワガタの生態と飼育法
- ・講 師 君島章男先生(塩原野生動物研究会代表)
- ・対 象 小学生以上
- ・定 員 各回15名(先着順で定員になり次第締切)
- ・参加費 1,500円(クワガタと飼育ケース付)
- ・申込方法 7月2日(月)~13日(金)電話で下記までお申し込みください。

■問い合わせ

ふれあいの丘自然観察館 ☎(28)3131
🌐 <http://www.fureaino-oka.com/shizen/>